

あきんど!?

ビジネススクール開講!

平成23年10月より、第1期「あきんど!?ビジネススクール」を開始いたしました。将来、経営に携わっていくことができるマネジメントの基本、及びリーダーシップ育成を、異業種で約1年間をかけて行うものです。

1. スクールの狙い

中小企業にとって人材育成は最重要の経営課題です。

少数精鋭のスタッフで臨む多くの中小企業では、様々な局面においてトップの判断に依存するケースがあります。迅速な決断が得られるというメリットがある反面、過度の依存は様々なリスクが考えられます。万一のことが生じた際、経営者代替要員の不足に困らない為にも、経営幹部の育成は不可欠なのです。

また、社員数の少ない中小企業においては、大企業のように社内で同様のポジションにある「ライバル」の存在は見つけにくいものです。他企業の生徒と接することで、自身の相対的な市場価値を知ることができ、さらに勉学に励む闘志を燃やすことができるでしょう。

2. 研修のコンセプト

一言でいえば「ジェネラリスト教育」です。このため営業や経理のスキルといった、「職能別」研修を期待する方にはおすすめしません。研修全体を通して、バランスのとれた経営判断ができるための、基本的な考え方を学びます。

目標は、様々な“引出”や、リーダーシップの取れる“必要条件”を身に付けることにあります。



3. 生徒の条件

① 将来的に経営中枢に携わっていくことを目指す人材

当スクールでは、リーダーシップやマネジメントの“必要条件”を身に付けていただきます。

実際に経営中枢に携わるには“必要条件”、そして、生徒各々が仕事現場において、他の様々な業績等の“十分条件”を満たすことが必要だと考えています。

② 向上心が高く、極力皆勤する熱意を持った人材

研修は原則隔週、17:30～20:00です。宿題が出ることもあり、決して楽なものではありません。自分を磨きたいという熱意が、何より求められます。

～年齢・性別・学力の条件は特に設けていません～

(あくまで弾力的な年齢基準ではありますが、受講者の世代的連帯感を高める意味で、40歳前後を目安としています。)

～主なカリキュラム～

- 「マネジメント」 リーダーシップ論、コミュニケーションの取り方
- 「ビジネスマンとして」 社内文書のまとめかた、情報管理のコツ
- 「財務・会計」 財務諸表、簿記、経営分析、管理会計、ケーススタディ
- 「労務管理」 労働関係、契約、法令、トラブル対処法、ハラスメント
- 「法務」 法律条文、印鑑・登記の実用知識、不祥事対策、契約書、債権管理



経営幹部 通年で養成

熊本流通団地協同組合 10月から「スクール」

熊本市の熊本流通団地協同組合（高田肇理事長）は、中小企業の経営幹部候補を対象とした「あきんど？ビジネススクール」を10月に開講する。11カ月間のカリキュラムを組み、経営に必要なさまざまな知識に精通した幹部養成を目指す。

同組合は流通団地に立地する卸や物流など約90社。同スクールは組合活性化や社会貢献を目的とした新規事業で、経営者の「片腕」となる人材を育て、異業種の幹部候補同士が切磋琢磨する機会を提供する。

同組合の子会社が事業主体となり、10月から来年8月まで、毎月2回の座学（1回2時間半）を市流通情報館で開催。商工組合中央金庫の元国際部長、公認会計士、弁護士、特定社会保険労務士などが講師を務め、マネジメント、財務・会計、労務管理、法務など各分野に関する知識を習得してもらう。

受講料（教材費込み）は組合員5万円、非組合員7万5千円。定員（16人）は埋まる見通しという。同スクールは第2期も通年で開講する計画。

全国卸商業団地協同組合連合会（東京・港

区）は「単発の経営者セミナーはよくあるが、従業員向けに体系的な取り組み」と評価している。
（川崎浩平）